

日本の竹ファンクラブ通信



竹林保全気が付けば「ゆでガエル」！

竹林の定期検診と健康管理

放置竹林問題に端を発した市民参加型の保全活動が始まって20年超、再生されたかに見える竹林ですが課題も見えるようになりました。再び人の手が入り、管理されてきた竹林は今どんな状況にあるのでしょうか。

近頃の間伐風景

一二月モウソウチクの
間伐作業に参加しました。

大型の竹をチェンソーの
一人が伐採した竹を他の
十人で処理する作業でし
た。2時間で60本余りの竹
を整備しました。二月には
マダケの間伐作業に参加
しました。こちらは小型化
した竹の再生途上にある
竹林で手鋸を使い3時間
余りで60本ほどの竹を一
人で伐採処理出来ました。
どちらも今日では当たり
前の作業風景です。

変化を続ける竹林

「近頃、年のせいかわ
ソウチクを切るのが大変
になった」という声を聞き

ます。放置竹林に初めて手

を入れてから26年間モニ
タリングを続けている団

体のデータによると一年
目の一九九五年生まれの

モウソウチクの平均直径
は8cmでした。それが二〇

二一年には13cmと実に1.6
倍に大型化しています。竹

1本の重さが直径8cmで
14kg、13cmで40kgと言わ

れており、実に2.9倍に変化
しています。決して年の所

為だけではありません。密
度管理の徹底で竹はゆっ

くりと大きくなっていた
のです。

一方で大きくなった竹
が、この頃小さくなったと

いう事例も多くなってい

ます。この場合は伐りすぎ

や筍の取りすぎが原因で
竹林が小型化したのです。

定期検診の必要性

「竹林の今の状態が正し
いか不安だ」という疑問も
増えてきました。毎年同じ
作業を繰り返していても

自然は変化して行きます。
人間は急な変化は気付く

が、ゆっくりとした変化は
見過ごしがちです。「ゆで

ガエル」にならないために
も竹林の定期検診をお薦

めします。目標と違う結果
が出た場合は保全方法を

見直し、軌道修正を図りな
がら竹林整備を続けるこ

とが大切だと思います。

理事長 平石 眞司

小机城址支部

年末作業は年明けの竹垣改修に向け、竹穂垣及び四ツ目垣の傷んだ部分を解体しました。寒肥はF地区（メイン会場）中心に化成肥料を撒きました。

年明けは灯籠の割り作業を続けメイン会場の残りA地区を終わらせ、前回最奥のE地区に作った大津垣横張りの囲いの中にメイン会場で割った灯籠を集積しました。更にA地区は2016年2月に作った大がかりな土留めの前面に遮蔽垣として竹枝を上下2段にした竹穂垣を作り、小机城址入口からの土留めの目



隠しとしました。

1月22日は午前中で作業を終わり、午後から小机商店街協同組合会館をお借りして新年会を行いました。

1月29日は竹垣改修を行い、散策路北側の竹穂垣3スパンと対面の四ツ目垣2スパンを2班に分かれどちらも完成させました。

報告：荻原三男

横浜国際プール支部

昨年末はサブプール前の法面でレーキを片手に一列に並び、踏んばって笹葉の落葉掻きでした。今後の間伐安全作業を期しての処理で、化成肥料を撒布して竹垣改修予定部の解体も終わりました。おわって近くのMさん宅にお邪魔をして、竹ファンで酒ファンの面々が一年の振り返りをしました。

新年は地域との協働でもある「北山田町内

会んど焼き」から始動、竹林では傷んだ園路の四ツ目垣を胴縁二段式で改修した。

間伐の本番は事前に蛍光マーキングテープをモウソウチク130本に巻き2月12日から着手。これらの材は4月の第2土曜日、第16回「横浜国際プール竹灯籠まつり林浴の庭」と来年以降の「会んど焼き」に活用します。

4月8日の竹灯籠まつりに向けた間伐、竹灯籠づくり、設置とづく活動に竹取協力隊や一般市民の方、たくさんのご参加をお待ちしています。

担当：根岸秀行



こどもの国支部



各地に広がる「ナラ枯れ」は園内各所にも被害をもたらし、私たち竹林整備を担当する施設管理課職員もその対応に追われています。

強風のある日、間伐竹を集積処理しているところに大径木の枯れ枝が落下。会員のヘルメットをかすめ足先に3メートル程の枝がドスン。年明け早々のヒヤリ・ハットに改めて気を引き締めました。さて年に一度の土曜日開催、今年もはやかな立春の日。この日に特化して参加する方に協力隊初参加の方、5年生と2年生の小学生姉妹など多彩な人たちがマダケ林の極細竹とてんぐ巢病竹の除去をしました。これからの季節、

見上げるとコブシの花と足下には可憐なスミレ……楽しみです。

担当：丹治 薫

中井町支部

当クラブが整備している4カ所のフィールドの中で、中井町半分には、真竹だけが生えている所です。

現在もきれいに整備されている竹林ですので、これからもこの状態を保持出来るように頑張っています。他のフィールドとは違った趣のある中井町半分へ、是非、皆さんのご参加をお待ちしています。

担当：榮 千彰

山田富士公園 会んど焼き 協力

1月8日朝から晴天の「会んど焼き」開催です。横浜国際プール下の山田富士公園の一



画では早くも紅梅が花開くなか、広場に3m四方のやぐら組立用の古竹材を運搬し、前日に切った4本の隅柱は長さ8.5mの若竹を地元造園会社のユニツク車で立てたが、なかなか中心が合わずに傾き調整に苦労したが下部の切断、中段の水平筋交い竹を取付け、周囲を枯竹で囲んでやぐらが完成。住民の持ち寄る正月飾りやしめ縄等が取りつくくと素晴らしい満艦飾になりました。午後1時半に、北山田消防団員の手で着火となりました。会場では認知症迷子の発見アプリ登録を行い、地元住民で助けあう連絡網が確立したとのアナウンスもありました。

報告：石井明男

TAKEFAN NEWS

あたたかい「よこはま夢ファンド」ご寄付が役立っています！

皆様からの寄付金を積み立てて、よこはま夢ファンドに登録されたNPO法人の公益的活動への助成など、横浜市内で活動する市民活動団体の支援に活用されている基金です。

助成金活用実績と今後の予定、・2021年度：竹林の保全育成事業（都筑折本）、竹の学校事業「親子体験講座」、同「筍料理講座」・2022年度：竹の学校事業「親子体験講座」・2023年度実施予定（申請中）：竹の学校事業講座

今年も「よこはま夢ファンド」で応援してください！ 支援指定をいただけるご寄付の方は、寄付申込書（Word 様式）をダウンロードしご記入の上、ファクス・Eメール添付又は郵送で横浜市にお送りください。寄付申込書のダウンロードは ⇒ [横浜市一トッパページ](#) ⇒ [よこはま夢ファンド 検索](#) ⇒ ※市民活動推進基金とは ⇒ ※ 寄付をお考えの方にページ ⇒ 寄付申込書（Word）。

（寄附申込み書の送付先）横浜市市民局市民協働推進課よこはま夢ファンド担当 〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10 ファクス：045-223-2032 Eメール：sh-fund@city.yokohama.jp（寄附申込み書の添付が可能）。その他インターネット寄付申込書フォーム（ふるさとチョイス外部サイト、15・環境保全のための活用に協力したい）からもできます。日本の竹ファンクラブでは正会員特典を設けています。正会員が寄付時に希望する活用団体名を、日本の竹ファンクラブ（希望活動分野：1. 保健、福祉、子ども 2. まちづくり、環境 3. 文化、スポーツ）と指定し、且つ10,000円以上寄付された場合は、当該年度の年会費2,000円が免除（返金）となるので、納付書等のコピーを事務局へ送付とご連絡をください。寄付していただくと、税制上（所得税、住民税）の優遇措置が受けられます。

第16回 横浜国際プール 林浴の庭 「竹灯笼まつり」に参加しましょう！

本年も下記の通り「竹灯笼まつり」を開催します。準備も含め作業日数が非常に多くなっています。出来るだけ多く参加して下さいようお願い致します。

■4月8日（土）

（雨天の場合翌9日に順延）

■準備期間・前日・当日のスタッフ募集中です。お手伝いいただける方は同封の申込書に必要な事項を記入の上、事務局までお申込み下さい。

2023年度総会 6月18日（日）開催

2022年度総会を下記の通り開催します。

別途案内状を差し上げますのでご出席下さい。

日時 2023年6月18日（日）13:00～14:00

場所 城郷小机地区センター

内容 総会 主な議題

- ① 2022年度事業報告並びに収支決算・監査報告
- ② 2023年度事業計画並びに収支予算書

令和5年度会費納入のお願い！

4月は会費更新の月です。

継続してクラブの活動をご支援下さい。

会員種別を明記の上お申し込みください。

◆入会金 1,000円

（新規入会の正会員希望の方のみ、継続会員は不要）

◆会費種別 正会員 個人2,000円

（入会して、総会の議決権を持つ個人）

準会員 正会員の家族1,000円、学生1,000円

（入会し、総会の議決権を持たない個人）

賛助会員 個人3,000円、法人以外の団体5,000円

法人30,000円（各一口以上）

（活動を支援するために入会した個人、法人及び法人以外の団体で、総会の議決権を持たない）

◆<振込先>郵便振替 00270-0-69084

特定非営利活動法人 日本の竹ファンクラブ

活動報告

2月25日 森林づくり活動団体・グループ交流会

2月26日 理事会

2月26日 通信春号発行

新入会員紹介 下線は竹取協力隊入隊者（敬称略）

◆無し



左：ハチク

右：マダケ

1ページ竹の子の穂先写真

左：マダケ、中：ハチク、右：モウソウチク

予定表

※**学校管**：竹の学校「竹林管理コース」 ※**協力隊**：竹取協力隊の定例活動 ※**援農隊**：竹取援農隊の定例活動

※**イベント**：詳細はチラシ又はホームページでご覧下さい。

4月1日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯笼設置 10:00~15:00	5月3日(祝水) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 竹林整備と密度管理 10:00~15:00 講義：竹の由来と生態 9:00~12:00 実習：穂先筍収穫と竹水作り 13:00~15:00
4月7日(金) 協力隊	横浜国際プール まつり前日準備 10:00~15:00	5月9日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00~15:00
4月8日(土) イベント	横浜国際プール (要事前申込み) 第16回竹灯笼まつり 9:00~21:00 (予備日10日)	5月11日(木) 協力隊	中井町 竹林の整備 10:00~15:00
4月9日(日) 協力隊	横浜国際プール まつり材片付け 10:00~12:00 (予備日11日)	5月14日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林整備・密度管理 10:00~15:00
4月11日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00~15:00	5月20日(土) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 若竹伐採 10:00~15:00 講義：筍の育成と管理 9:00~12:00 実習：若竹伐採と竹水取水 13:00~15:00
4月13日(木) 協力隊	中井町 竹林整備 10:00~15:00	5月23日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00~15:00
4月15日(土) 協力隊	横浜国際プール 10:00~15:00 竹灯笼割り・チップ化・密度管理	5月28日(木) 協力隊	中井町 竹林の整備 10:00~15:00
4月16日(日) 協力隊	小机城址市民の森(要事前申込み) たけのこ掘り 10:00~15:00	6月4日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 若竹伐採とお礼肥 10:00~15:00 講義：竹林の管理と育成 9:00~12:00 実習：若竹伐採とお礼肥 13:00~15:00
4月21日(金) 協力隊	横浜国際プール 10:00~15:00 竹灯笼割り・チップ化・密度管理	6月10日(土) 協力隊	中井町 親竹の選定と密度管理 10:00~15:00
4月22日(土) 協力隊	小机城址市民の森 親子竹林学習 10:00~14:00	6月13日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00~15:00
4月23日(日) 協力隊	小机城址市民の森(要事前申込) たけのこ掘り 10:00~15:00	6月22日(木) 協力隊	中井町 親竹の選定と密度管理 10:00~15:00
4月25日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00~15:00	6月25日(日) 協力隊	横浜国際プール 10:00~15:00 若竹伐採と下草刈り(マダケ)
4月27日(木) 協力隊	中井町 竹林整備 10:00~15:00	6月27日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00~15:00
4月29日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯笼チップ化 10:00~15:00		

竹に関する情報がありましたら、どんなことでも結構です。下記宛にご連絡をお願いいたします。

E-MAIL:office141@takefan.jp URL:http://takefan.jp TEL&FAX 045-306-9993